

第一部会 審議資料

資料 1 - 1

(事業名) (仮称) 赤坂二丁目プロジェクト

部会審議項目(6) 騒 音 電 風 景 (は終了)

(環境影響評価の項目) 騒音・振動 (選定した項目)

(年月日) 平成 30 年 7 月 27 日

項 目	環境影響評価書案	環境影響評価書案 関連頁
現 況 調 査	(1) 調査事項 (2) 調査地域 (3) 調査方法 (4) 調査結果	P98～P112
予 測	(1) 予測事項 (2) 予測の対象時点 (3) 予測地域 (4) 予測方法 (5) 予測結果	P113～P126
環境保全のための措置		P127
評 価		P128～P129
都民の主な意見	な し	
関係区長の意見	別紙1のとおり	
項目検討の内容	(1) 検討年月日 平成30年7月6日 (2) 担当委員 町田 信夫 委員 (3) 検討結果 意見あり (別紙2のとおり)	

関係区長の意見

【港区長】

- 1 建設作業にあたっては、騒音、振動、粉塵等、周辺環境に与える影響を低減するよう適切な対策を講じてください。
- 2 工事車両について、騒音、振動、渋滞など周辺への影響を考慮し、車両の出入する動線や時間帯等を工夫してください。また、工事車両の通行が想定されている区道679号、869号及び1041号は道路が狭隘であることから、通行する車両については、徐行を含めた交通安全の徹底を図るとともに沿道住民等への丁寧な説明に努めてください。

【千代田区長】

工事期間中の周辺道路の交通状況を把握し、適宜工事車両の通行による交通煩雑削減のための適切な対策を図ること。また、工事車両の通過ルートについては、関係機関と十分協議し、周辺の交通渋滞および沿道の騒音の防止に努められたい。

項目：騒音・振動

意見	意見の取扱いについての事務局案
工事用車両の走行に伴う道路交通騒音・振動について、評価の指標を下回るとしているが、主な走行経路となる区道は、道路幅が狭く、沿道には住宅が存在することから、環境保全のための措置を徹底すること。	指摘の趣旨を答申案に入れる。

第一部会 審議資料

資料 1 - 2

(事業名) (仮称) 赤坂二丁目プロジェクト

部会審議項目(6) 騒 日 電 風 景 (は終了)

(環境影響評価の項目) 日影 (選定した項目) (年月日) 平成 30 年 7 月 27 日

項 目	環境影響評価書案	環境影響評価書案 関連頁
現 況 調 査	(1) 調査事項及び選択理由 (2) 調査地域 (3) 調査方法 (4) 調査結果	P130～P138
予 測	(1) 予測事項 (2) 予測の対象時点 (3) 予測地域及び予測地点 (4) 予測方法 (5) 予測結果	P139～P143
環境保全のための措置		P144
評 価		P144
都民の主な意見	な し	
関係区長の意見	別紙1のとおり	
項目検討の内容	(1) 検討年月日 平成30年7月24日 (2) 担当委員 義江 龍一郎 委員 (3) 検討結果 意見あり (別紙2のとおり)	

関係区長の意見

【港区長】

意見なし

【千代田区長】

評価書案のとおり対応されたい。

項目：日影

意見	意見の取扱いについての事務局案
<p>日影の予測・評価において、現況に含まれている赤坂ツインタワー地上部は、既に解体されていることから、解体後の状況を現況とし、予測・評価を見直すとともに、環境保全のための措置を検討すること。</p> <p>(風環境、景観共通)</p>	<p>指摘の趣旨を答申案に入れる。</p>

第一部会 審議資料

資料 1 - 3

(事業名) (仮称) 赤坂二丁目プロジェクト

部会審議項目(6) 騒 日 電 風 景 (は終了)

(環境影響評価の項目) 風環境 (選定した項目)

(年月日) 平成 30 年 7 月 27 日

項 目	環境影響評価書案	環境影響評価書案 関連頁
現 況 調 査	(1) 調査事項 (2) 調査地域 (3) 調査方法 (4) 調査結果	P155～P159
予 測	(1) 予測事項 (2) 予測の対象時点 (3) 予測地域 (4) 予測方法 (5) 予測結果	P160～P172
環境保全のための措置		P173
評 価		P173
都民の主な意見	な し	
関係区長の意見	別紙1のとおり	
項目検討の内容	(1) 検討年月日 平成30年7月24日 (2) 担当委員 義江 龍一郎 委員 (3) 検討結果 意見あり (別紙2のとおり)	

関係区長の意見

【港区長】

- 1 敷地周辺の歩道等を通行する者の安全が確保されるとともに、敷地内の広場・緑地の利用者が快適に過ごし憩えるよう、十分な風対策を着実にを行い、できる限りビル風の低減に努めてください。
- 2 ビル風軽減策の検討にあたっては、防風植栽以外にもフェンスや防風スクリーン、庇、建物形状、低層部分を設けるなど総合的に検討し、さらに工夫してください。
- 3 防風植栽については、港区ビル風対策要綱の手続きを踏まえ整備を進めるとともに、適切な植栽の維持管理を行ってください。
- 4 工事期間中の風の測定などについて、近隣住民等からの要望が出た場合は対応するとともに、ビル風の陳情・苦情には、丁寧に対応し、必要に応じて対策を講じてください。

【千代田区長】

評価書案のとおり対応されたい。

項目：風環境

意 見	意見の取扱いに ついての事務局案
<p>風環境の予測・評価において、現況に含まれている赤坂ツインタワー地上部は、既に解体されていることから、解体後の状況を現況とし、予測・評価を見直すとともに、環境保全のための措置を検討すること。</p> <p>(日影、景観共通)</p>	<p>指摘の趣旨を答申案に入れる。</p>

第一部会 審議資料

資料 1 - 4

(事業名) (仮称) 赤坂二丁目プロジェクト

部会審議項目(6) 騒 日 電 風 景 (は終了)

(環境影響評価の項目) 景観 (選定した項目)

(年月日) 平成 30 年 7 月 27 日

項 目	環境影響評価書案	環境影響評価書案 関連頁
現 況 調 査	(1) 調査事項 (2) 調査地域 (3) 調査方法 (4) 調査結果	P174~P182
予 測	(1) 予測事項 (2) 予測の対象時点 (3) 予測地域 (4) 予測方法 (5) 予測結果	P183~P194
環境保全のための措置		P195
評 価		P195
都民の主な意見	な し	
関係区長の意見	別紙1のとおり	
項目検討の内容	(1) 検討年月日 平成30年7月24日 (2) 担当委員 義江 龍一郎 委員 (3) 検討結果 意見あり (別紙2のとおり)	

関係区長の意見

【港区長】

意見なし

【千代田区長】

評価書案のとおり対応されたい。

項目：景観

意見	意見の取扱いについての事務局案
<p>景観の予測・評価において、現況に含まれている赤坂ツインタワー地上部は、既に解体されていることから、解体後の状況を現況とし、予測・評価を見直すとともに、環境保全のための措置を検討すること。</p> <p>(日影、風環境共通)</p>	<p>指摘の趣旨を答申案に入れる。</p>

「(仮称) 赤坂二丁目プロジェクト」に係る環境影響評価書案について (案)

第1 審議経過

本審議会では、平成30年2月23日に「(仮称) 赤坂二丁目プロジェクト」環境影響評価書案（以下「評価書案」という。）について諮問されて以降、部会における審議を重ね、関係地域区長の意見等を勘案して、その内容について検討した。

その審議経過は付表のとおりである。

第2 審議結果

本事業の評価書案における調査、予測及び評価は、おおむね「東京都環境影響評価技術指針」に従って行われたものであると認められる。

なお、環境影響評価書を作成するに当たっては、関係住民が一層理解しやすいものとなるよう努めるとともに、次に指摘する事項について留意すべきである。

【大気汚染】

建設機械の稼働に伴う大気汚染の評価において、評価の指標を下回るとしているが、二酸化窒素の最大着地濃度地点では本事業による寄与率が高いことから、環境保全のための措置を徹底すること。

【騒音・振動】

工事用車両の走行に伴う道路交通騒音・振動について、評価の指標を下回るとしているが、主な走行経路となる区道は、道路幅が狭く、沿道には住宅が存在することから、環境保全のための措置を徹底すること。

【日影、風環境、景観共通】

日影、風環境及び景観の予測・評価において、現況に含まれている赤坂ツインタワー地上部は、既に解体されていることから、解体後の状況を現況とし、予測・評価を見直すとともに、環境保全のための措置を検討すること。

【審議経過】

区 分	年 月 日	審 議 事 項
審議会	平成 30 年 2 月 23 日	・評価書案について諮問
審議会	平成 30 年 5 月 22 日	・現地視察
部 会	平成 30 年 6 月 21 日	・項目別審議 大気汚染、電波障害
部 会	平成 30 年 7 月 27 日	・項目別審議 騒音・振動、日影、風環境、景観 ・総括審議
審議会	平成 30 年 7 月 31 日	・答申（予定）

※都民の意見を聴く会は、都民からの意見書の提出がなかったため開催されなかった。

【項目別検討の実施状況】

環境影響評価の項目	項目検討の実施年月日
大 気 汚 染	平成 30 年 6 月 12 日
騒 音 ・ 振 動	平成 30 年 7 月 6 日
日 影	平成 30 年 7 月 24 日
電 波 障 害	平成 30 年 6 月 6 日
風 環 境	平成 30 年 7 月 24 日
景 観	平成 30 年 7 月 24 日